

水稻の生育状況と当面の対策

基本技術を励行して消費者に「おいしいお米」を届けよう！

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiku/index.html>

第 2 報
千葉県農林水産部
令和 5 年 6 月 5 日

茎数はやや少ないですが、中干しは適期に行いましょう 「ふさおとめ」の幼穂形成期は6月13日頃の見込み

[生育概況]

5月下旬は低温で日照時間も少なかったため、生育の遅速(葉令の進み)は平年並みですが、茎数はやや少なめで、早生品種の草丈はやや短くなっています。葉色は平年並みに推移しています(表1)。例年より、還元障害の発生しているほ場が多く見られます。

全体的な茎数確保は遅れていますが、植え付けが早く初期生育が順調だったほ場では、中干しを始める時期に入っています。

気象庁の2週間気温予報では、今後の気温は「高い」と予測しています。そのため、ほ場により幼穂形成期が見込みよりずれる可能性がありますので、こまめに幼穂を確認しましょう。

表 1 品種別の生育状況(6月1日現在)

| 品種 | 植付時期 | 平年比※ | | | |
|-------|-------|-------|-----|-----|----|
| | | 葉令の進み | 草丈 | 茎数 | 葉色 |
| ふさおとめ | 4月20日 | やや遅 | やや短 | 少 | 並 |
| ふさこがね | 4月20日 | 並 | やや短 | やや少 | 並 |
| コシヒカリ | 4月20日 | 並 | 並 | やや少 | 並 |
| | 5月1日 | 並 | 並 | やや少 | 並 |
| 粒すけ | 4月20日 | 並 | 並 | 並 | 並 |

※平年比は過去10か年(2013~2022年)の平均値との比較。

ただし、粒すけは過去8年(2015~2022年)のデータとの比較。

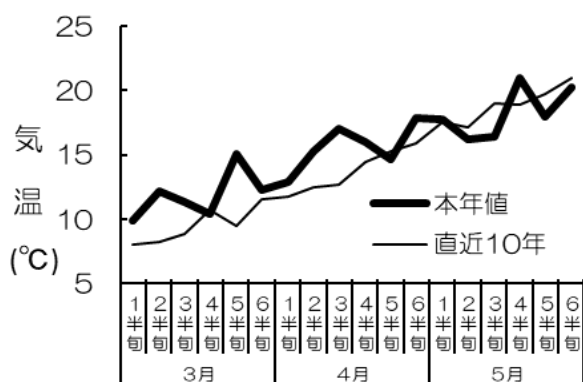


図 1 日平均気温の推移(アメダス、佐倉)

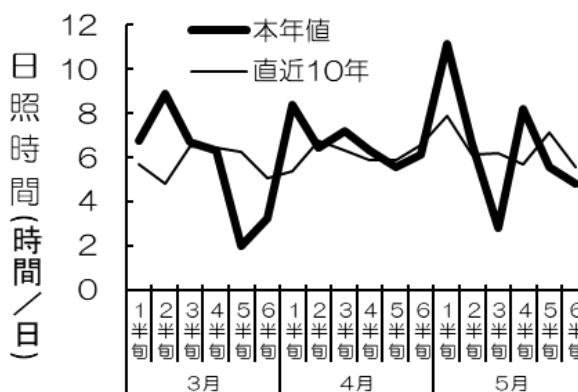


図 2 日照時間の推移(アメダス、佐倉)

[これからの管理のポイント]

■ 適期に中干しを実施します

本年はやや分げつが少なく、中干しを開始する時期が遅くなるほ場では、中干し期間が短くなることが予想されます。莖数が確保されたら速やかに実施できるようにしてください。中干しは無効分げつを抑制し過繁茂を防ぐとともに、地中深く根を張らせる効果があるため、近年頻発している登熟期の高温障害の予防としても有効です。土壤水分にムラが生じやすい場合は「溝切り」を行うことでムラが解消でき中干し効果が高まります。

表2 品種別の中干し開始目標莖数

| 品種 | 植付時期 | 砂質 | 壤質 | 粘質 |
|-------|-------|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| ふさおとめ | 4月20日 | 480本/m ² (27本/株) | 480本/m ² (27本/株) | 440本/m ² (24本/株) |
| ふさこがね | 4月20日 | 360本/m ² (20本/株) | 360本/m ² (20本/株) | 360本/m ² (20本/株) |
| コシヒカリ | 4月20日 | 320本/m ² (18本/株) | 310本/m ² (17本/株) | 300本/m ² (16本/株) |
| | 5月1日 | | | |
| 粒すけ | 4月20日 | 472本/m ² (26本/株) | 440本/m ² (24本/株) | |

※ () 内は60株/坪植えの時の1株当たり莖数の目安。疎植の場合はこの目標に達しないことがある。

■ 穂肥の時期は幼穂長で判断します

4月20日植えの「ふさおとめ」は6月13日頃から、「ふさこがね」は6月14日頃から、幼穂形成期（幼穂長1mm）となる見込みです。

幼穂が確認できたら速やかに入水するとともに、適期に穂肥を施用しましょう。「ふさおとめ」の穂肥は遅れないよう幼穂長が1mm～1cm、「ふさこがね」は幼穂長が1cmになったら施用しましょう。施肥量は、窒素と加里を10a当たり分量で各3kg（ただし、房総南部の粘質土は「ふさおとめ」が1～2kg、「ふさこがね」が2～3kg）が目安です。

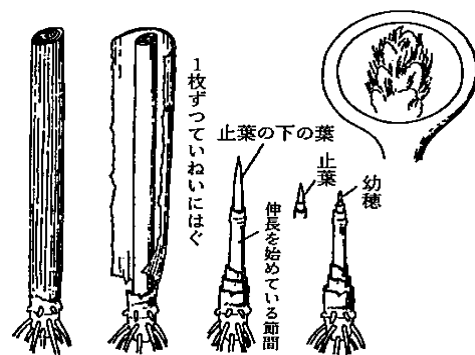


図3 幼穂の確認方法

表3 品種別の幼穂形成期の予測日

| 品種 | 植付時期 | 幼穂形成期予測日（月日） | | | |
|-------|-------|--------------|---------------|-------------|-------------|
| | | 県北 （香取市） | 九十九里 （茂原市） | 内湾 （千葉市） | 県南 （館山市） |
| ふさおとめ | 4月20日 | 6月17日～ | 6月14日～ | 6月13日～ | 6月13日～ |
| ふさこがね | 4月20日 | 6月18日～ | 6月15日～ | 6月14日～ | 6月14日～ |

※ 生育ステージ予測システム（令和4年度千葉県試験研究成果普及情報）を基に予測

■病害虫・雑草防除

○いもち病発生に注意

今後、低温で降雨の日が続くと、いもち病の発生が多くなると予想されます。特に、昨年いもち病の発生があったほ場や、風通しの悪いほ場では注意が必要です。

本年は、初期生育が悪かったため、補植用の置き苗がまだ処分されていないほ場が多く見られます。早めに処分し、感染源を減らしましょう。

○イネばか苗病の抜き取りのお願い

本田で発生したイネばか苗病の株を放置すると、孢子が飛び、周りのほ場にも伝染します。特に、採種ほ場の周辺で本病が発生すると、優良な種子の生産に支障をきたします。本病の発生が見られたら、採種ほ場の出穂前までに罹病株ごと抜き取り、田んぼから離して埋却処理するなどの対応について、ご協力をお願いします。



写真1 イネばか苗病

○畦畔から侵入する「ほふく性雑草」を防除します

畦畔からのイネ科ほふく性雑草（キシウスズメノヒエ、アシカキ等）やイボクサが本田に侵入する時期です。中干しを始めると茎の節から発生した根が田面に張るため、除去が難しくなります。中干しと併せて取り除きましょう。

◆ナガエツルノゲイトウ（草刈り時の拡散防止）

特定外来生物の「ナガエツルノゲイトウ」の発生地域が拡大しています。茎断片でも容易に芽を出し定着するため、草刈りにより個体数を増やす場合があります。

また、草刈り時に茎断片が水路に落下すると水系を通じて拡散する恐れがあります。

畦畔は「ラウンドアップマックスロード」「ロイヤント乳剤」「ザクサ液剤」等の除草剤を使用し防除します。

詳しくは千葉県農林水産技術会議発行資料を参照して下さい。
右QRコード



写真2 白い花が咲く



写真3 畦畔から本田に侵入する様子

次回の「水稻の生育状況と当面の対策」は、6月19日に発行予定です。